

鈴木 ひでき

市政レポート

2014.01 No.5

発行:鈴木 ひでき 後援会

<連絡先>〒445-8502 西尾市下羽角町住崎1 TEL0563-55-1167 FAX0563-55-1909



～ご挨拶～「新年明けまして おめでとうございます
本年もよろしくお願ひ致します」

早いもので、議員となって一年が経ち、一重にご理解とご支援を頂いている皆様のお陰と感謝申し上げます。

さて、昨年は2020年に東京でのオリンピック開催が決定しました。本市では2015年徳川家康公顕彰四百年、2016年、市制100周年などの記念事業が控えています。この機に、本市が益々繁栄するように努めてまいります。

今後の皆様のご活躍とご健勝をご祈念申し上げると共に、変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



11月度臨時議会報告

◇11月15日に臨時議会が開催され、私の所属する委員会等が決定しました。

・常任委員会：総務企画委員会

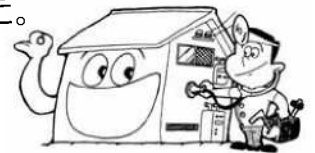
※財源・行政の企画全般や、防災対策などを確認する。

・特別委員会：空き家等対策検討特別委員会（役職：副委員長に拝命）

※空き家等による、環境・防犯・防災などの諸問題や、有効活用方法について、個人の財産であることを配慮しながら建物等の適正管理の調査・研究を推進する。

・理事：土地開発公社

※土地開発公社の事業の決定、執行に関する会議へ参画する。



岡崎市東部学校給食センター 平成27年9月よりリニューアル予定

昭和49年4月に建設された当施設は、老朽化が著しいため「岡崎市東部学校給食センター整備事業」で、新施設への整備が進められています。新施設は、安全・安心でおいしい給食を安定的に提供すると同時に、食育の推進や、経費節減にも配慮される構想です。

今回、「第84号議案 工事請負の契約について」において、本整備事業の契約内容を審議しましたので、施設概要をご紹介します。 ※審議内容は、次ページを参照願ひます。

施設の外観



項目	内容
事業場所	岡崎市岡町地内
敷地面積	12,282㎡
延床面積	5,400㎡以上
事業期間	H25.12～H27.9予定
落札金額	26億9,531万円
予定配送校	小学校19校、中学校7校 養護学校1校
計画食数	13,000食

平成25年度12月定例会の報告

会期中は、上程された26議案（その他・条例：17件、補正予算：9件）の審議を行い、最終本議会において賛成の立場を表明し、いずれも可決されました。私も質問する機会を得て、以下について市の考えを確認しましたので、その内容をお伝えします。

地域防災、子ども・子育て支援、都市計画道路整備に対し考えを問う

◆地域防災について

概要：去年7月、南海トラフ巨大地震を見据え、「西三河9市1町」や「ゆかりのまち」などの自治体間で、災害協定を締結しました。災害発生時にしっかり機能するよう、どのような連携をしているのか確認しました。



Q:自治体や民間との災害時相互応援協定は、何件締結しているのか？

A: 全体では、96件の協定締結。

<主な協定締結先>

自治体	全国中核市、ゆかりのまち、西三河9市1町、競艇事業実施市（詳細は岡崎市ホームページ参照）
民間	応急復旧関係（土木、建設、管工事など複数団体）、資機材レンタル（6事業所） 流通関係（食品：10事業所、生活用品：4事業所）、葬儀関係、廃棄物処理等の事業所 医療関係（医師会、歯科医師会、薬剤師会）

Q:災害発生時、避難所へ安定して物資供給を行うため、どのような取り組みを実施しているのか？

A: 岡崎市業務継続計画の中で、物資供給に関するマニュアルの具体化を行っている。具体的には、食数の試算（流通業者の協力で15万食）や、緊急時の営業継続要請、市から流通業者に対する物資調達の協力依頼等がある。また、事業者と連携した訓練も実施する予定。

自治体間や民間事業者との連携を通じ、庁舎内の縦と横のコミュニケーション向上も図れば、防災力強化のみならず、通常業務の効率化に繋がります。積極的に取り組んで頂くよう意見しました。

◆子ども・子育て支援について



概要：平成24年度「子ども・子育て関連3法」が成立。これに基づき、平成27年度より、「子ども・子育て支援新制度」が、施行される予定です。残り約1年でより充実した支援に繋げるため、現在の課題を確認しました。

Q:保育事業において、延長保育充実の計画をどのように進めているのか？

A: 早朝や夕方の保育需要に対応するため、順次延長保育を実施する園を増やしている。今後、保育スペースや保育士の確保などの検討をする。

※保育所スペース・保育士の基準は、鈴木ひでき市政レポートNo.1を参照願います

Q:延長A保育から、より保育時間が長い延長B保育に移行するための費用は？

A: 1園当たりの平均で、年間約800万円の人件費増加が見込まれる。

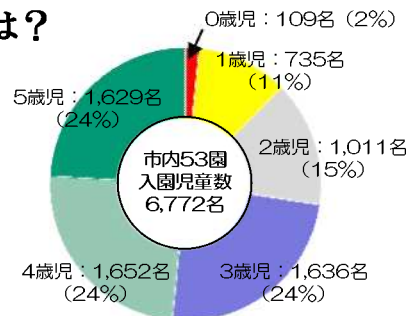
※延長Aコース：8時～17時30分まで（平日のみ）
延長Bコース：7時～19時まで（平日及び土曜日）

Q:延長B保育の児童割合は？

A: 延長B保育の児童数は、今年度4月現在で1,992名に及び、29%を占める。この5年間で約1.3倍になっている。

※全入園児童数と年齢の内訳については右グラフ参照

<平成25年度4月入園児童年齢別>



Q:保育士の退職率が9%に及ぶ中、人材の確保を、どのように進めて行くのか？

A: 正規保育士は、新規採用での確保を図る。さらに、平成26年度は「育児休業に伴う臨時的任用」から正規に任用する。嘱託・パート保育士は、「保育士再就職支援セミナー」を11月開催し、潜在保育士の掘り起こしなどを行い確保を図る。

現場の園長先生・保護者などの意見も聞き、人の確保の課題は早急に取り組むように意見しました。



Q:放課後対策事業について、児童育成センターの現在の課題と対策は？

A: 課題は、学区により待機児童がいる点と、長期休暇時等の開館時間拡大や、祝日の開館に対応できていない点。対策は、学区こどもの家で、放課後子ども教室を実施している。今後も地域の事情を的確に把握し、より良い支援策につなげる。

※児童育成センター：昼間保護者が家庭にいない小学校1年生から3年生の児童を対称にした、遊びと生活の場を与える放課後の居場所

Q:受入対象を低学年から全学年に拡大することにより、現在待機児童のいない学区でも、今後発生する恐れがある。例えば小学校を活用するなどの考えは？

A: 既存施設のみではなく、他の公共施設の有効活用を図る。また、保育士、養護・小学校・中学校教諭などの資格を有する人材の確保も含め、児童育成センターの公設民営化なども視野に入れ、幅広く検討を進める。

Q:子どもの状態に詳しい現場からの意見はないか？

A: 長期休暇では、ほぼ毎日、朝から夕方までの長時間を集団で生活するため、ストレスなどにより体調を崩したり、精神的に不安定になる児童がいるとのこと。行政として、まず第一に子ども達の健やかな成長と幸せを考え、保護者との適切な関わりを重視し、子育て支援施策を進める。

子どもの健やかな成長と幸せを最優先に考えた上で、保護者のニーズに応じていくよう意見しました。

◆都市計画道路整備について

概要：整備計画の優先順位の考え方と、都市計画道路岡崎刈谷線の進捗状況を確認しました。

Q:整備計画は、どのような考え方で、優先順位をつけているのか？

A: 都市計画道路整備プログラム策定マニュアル（案）を用い、定量的な費用便益評価や定性的な便益評価を行い、総合的に整備順位が設定できるように進める。

※定量的な費用便益とは、道路整備事業費について時間・走行・交通安全などを評価項目とすること。

定性的な便益とは、自転車歩行者交通機能、防災などの都市活動に重要な機能等について、重要度を再検証し評価項目とすること。

Q:県へ要望中の都市計画道路岡崎刈谷線の範囲と進捗状況は？

A: 範囲は、上和田西交差点から、国道248号までの区間、約2kmについて4車線化を要望。進捗状況は、県と市の関係者で調整会議を実施し、JR東海との立体交差に必要な協議を進める予定。

費用便益評価を進める際の予算確保と、防災も重要な機能として評価するように意見しました。

各委員会での審議内容報告

◆岡崎市東部学校給食センター整備事業について(第84号議案 工事請負の契約について)



Q:アレルギー対応と、食の配給間違いの防止策は？

A: アレルギー対応は、県の方針に則し、「卵」と「乳」の除去食を準備する予定。食の配給間違いの防止策は、①アレルギー調理室や洗浄コーナーの設置、②食材搬入から搬出作業で、アレルギーの誤混入や、誤配等が発生しない動線、③食器具等個別容器に氏名等を表示する等がある。

Q:新施設稼働に伴う、配送校数の変化は？

A:	配送校数	現在(20校)	稼働後追加(7校)
	学校名	14小学校(男川、美合、緑丘、三島、竜美丘、竜谷、藤川、山中、本宿、生平、秦梨、上地、小豆坂、豊富)、5中学校(美川、竜海、東海、河合、竜南)、1養護学校(みあい)	4小学校(夏山、宮崎、形埜、下山) 1中学校(額田)+再編2校

防止対策が、供用開始後も間違いなく運用されるよう意見し、賛成としました。

◆補正予算について(第94号議案 平成25年度岡崎市一般会計補正予算(第5号)について)

Q:分散型エネルギーインフラプロジェクト導入可能性調査委託料(3百万円)の内容は？

A: 総務省が実施する「分散型エネルギーインフラ」プロジェクトの候補地に選ばれ、導入の可能性を調査するもの。対象地域は、中央総合公園及びJR岡崎駅南土地区画整理事業区域である。今後、平成26年度マスタープランを策定し、平成27年度から事業着手する予定。

地域の活性化と、先進事例に繋がるように進めることを意見し、賛成としました。

岡崎市消防救急デジタル無線の整備について 平成28年4月より

全国の消防本部等に導入されている消防救急無線は、電波法関係審査基準の一部改正及び、周波数割当計画の一部変更により、平成28年5月31日までに150MHz帯のアナログ無線から、260MHz帯のデジタル無線に移行します。その審議内容を、ご報告いたします。

<整備概要>



◇落札金額：12億7,224万円

Q: デジタル波の強み・弱み、対策方法は?

A: 秘匿性の向上とデータ伝送が可能になる一方で、電波の到達距離が3割短くなる。また、直進性が強く、建物による反射等で交信に支障をきたす恐れがあるため、基地局、中継局にダイバーシティアンテナを用いることにより解消する。

Q: 整備スケジュールは?

時期	整備内容（整備局数及び機数）
平成25年12月末	本契約、実施設計
平成26年7月	東庁舎基地局（1局）及び中継局整備（4局）
平成27年4月	移動局整備（427機）
平成28年4月	供用開始予定

供用開始時に、混乱が起きないように関係者への教育を行って頂くことを意見し、賛成としました。

【活動記録】（10月1日～12月31日）主な活動の一部を記載します。



■10月2日
連合愛知中地協のメンバーと市長に要望書を提出。



■10月6日
デンソー西尾製作所のわくわくホリデーに参加。



■10月8日～11日
全国都市問題会議に参加。



■10月21日
市長へ学区防災防犯協会連合会の内閣総理大臣賞受賞報告に列席。



■10月22日&23日
デンソー幸田、西尾製作所にて議員とのふれあいトークを実施。



■10月28日
平成26年度岡崎市予算要望書を市長へ提出する。



■11月16日
おかざきっ子展に参加。



■11月24日
地域防災訓練に参加。



■11月25日
デンソー西尾製作所にて議員報告会を開催。



■12月5日
デンソー西尾製作所にて、交通安全全庁に参加。



■12月10日
連合愛知年末街頭活動に参加。



■12月15日
岡崎市綱引き大会に選手として参加。

この相談

地域での困りごと、市政に対するご意見・ご相談等お気軽に「鈴木 ひでき 暮らしの相談室」をご利用ください。皆様のお役にたてるように頑張ります。

ホームページのアドレスは、
http://www.giin-dnwu.com/suzuki_hideki/
「鈴木 ひでき」検索でも見れます！！

みなさん、是非とも、ホームページをご覧ください！！

